

# 東日本支部 夏のリコチャレ 2024

## 「夏休み！ドボジョと橋をみてみよう♪in いばらき」

### 開催報告

東日本支部では、茨城県笠間市・茨城県石岡市・(一社)茨城県建設業協会建女ひばり会と共催で、リコチャレ  
参画イベント「夏休み！ドボジョと橋をみてみよう♪in いばらき」を笠間市と石岡市の2か所で開催しました。

#### ■ 開催概要

##### 笠間市

- 開催日 2024年7月31日(水) 13:30~16:30
- 場所 点検する橋：茨城県笠間市「大古山橋」 現場見学：国道355号東成井こ線橋  
講習会など：笠間市市民センターいわま
- 参加人数 子ども13名(小学生9名、中学生4名)、保護者11名  
スタッフ25名：正会員6名、笠間市5名、建女ひばり会9名、茨城県土木部3名、  
国土交通省常陸河川国道事務所2名 計49名



笠間市 集合写真

##### 石岡市

- 開催日 2024年8月8日(木) 13:30~16:30
- 場所 点検する橋：茨城県石岡市「根当橋」 現場見学：国道355号東成井こ線橋  
講習会など：石岡市役所本庁舎
- 参加人数 子ども14名(小学生12名、中学生2名)、保護者10名  
スタッフ27名：正会員5名、石岡市8名、建女ひばり会9名、茨城県土木部4名、  
国土交通省常陸河川国道事務所1名 計51名



石岡市 集合写真

●内 容（笠間市、石岡市 共通）

13:30 イベント開始、挨拶

13:35 1時間目 橋の講習会

橋のひみつ、橋のペーパークラフトによる橋の仕組み説明、インフラメンテナンスについて、点検対象橋梁の説明、簡易橋梁点検チェックシートの記入の仕方について

14:10 バスで移動

14:25 2時間目 橋の点検チャレンジ

茨城県笠間市「大古山橋」

茨城県石岡市「根当橋」

14:55 バスで移動

15:15 3時間目 工事現場見学会

国道 355 号東成井こ線橋

※協力 茨城県土浦土木事務所

15:45 バスで移動

16:00 ホームルーム

土木の仕事について、女性土木技術者の現状  
アンケート記入 解散



中田支部長 挨拶

■ 当日の状況

1時間目 両日ともに橋の講習会では、国土交通省常陸河川国道事務所から「橋のひみつ」についてご講義いただきました。参加者は、橋の部材ごとにペーパークラフトを組み立てながら、橋の構造や仕組みを学びました。部材の細かさや数の多さに驚きつつも、親子で手をクレーンに見立て、楽しみながら組み立てを進めました。その後、茨城県土木部より、「インフラメンテナンス」、「点検対象橋梁」、「橋梁点検チェックシート」についてご説明いただきました。インフラメンテナンスの重要性を理解し、これから行う橋梁点検の約束事項を全員で確認しました。



1時間目状況

**2時間目** 笠間市では「大古山橋」、石岡市では「根当橋」にて、橋の点検を行いました。ここでは、全ての進行を建女ひばり会の皆様に担当していただきました。参加者は2班に分かれ、子どもと保護者のペアで「簡易橋梁点検チェックシート」を用い、高欄、地覆、排水桝、舗装、伸縮装置といったパーツごとに橋を丁寧に点検し、各自のシートに記入しました。排水溝の詰まりを発見した際には、スコップで詰まりを取り除くなど、点検だけでなくセルフメンテナンスにも挑戦しました。



**2時間目状況**

**3時間目** 両日ともに国道355号東成井こ線橋の工事現場を見学しました。JR常磐線上に建設中の橋を間近に見ながら、開通前の車道部分を歩きました。茨城県土浦土木事務所の方からの説明を興味深く聞き、その後の質疑応答では、子どもや保護者から多くの質問が寄せられました。「橋をつくるにはいくらかかりますか?」「何人の人が働いていますか?」といった質問に加え、1時間目で学んだ橋の寿命についての質問も出ました。また、「クレーンは何台使用しますか?」という質問には、「650tのクレーンを使用しましたが、その組み立てには3台のクレーンが必要でした。」との回答があり、参加者はそのスケールの大きさに驚いた様子でした。



**3時間目状況**

**HR** 現場見学後のホームルームでは、見学した現場のJRこ線部桁の一括架設動画を鑑賞し、工事の内容を改めて頭に焼き付けたようでした。また、最後に土木技術者女性の会が「土木の仕事について」「女性土木技術者の現状」について講義いたしました。子どもたちは、土木の仕事の多様性についてよく理解したようでした。一方、女性土木技術者の現状については保護者の方からの驚きの反応が多く見られました。

## 石岡市



ホームルーム状況  
(JRこ線桁の一括架設動画鑑賞)

## ■ おわりに

「夏休み！ドボジョと橋をみてみよう♪inいばらき」は、東日本支部が沼田リーダーのもと、昨年に引き続き無事に現地開催することができました。昨年は石岡市のみでの開催でしたが、今年は笠間市も加え、2か所の実施となりました。天候の不安もありましたが、両日ともに点検中や見学中は天気には恵まれました。暑い中での点検でしたが、子どもたちの真剣な様子がとても印象的でした。今回のイベントを通じて、少しでも子どもたちや保護者の皆様に「インフラ」や「土木」を身近に感じていただけたなら幸いです。

今回のイベント開催にあたりご尽力いただきました、茨城県笠間市、茨城県石岡市、茨城県建設業協会建女ひばり会、国土交通省常陸河川国道事務所、茨城県土木部の皆様にお礼を申し上げます。

## ■ アンケート結果

子ども達には、授業で印象に残ったことや授業の感想について質問しました。多くの子どもたちが「橋の点検チャレンジが楽しかった」と回答しており、自分自身で苦労しながら点検した経験が印象に残っているようでした。また、現場見学も多くの子供達にとって印象深かったようで、普段は入れない場所に入ったことや、質問ができたことが特に記憶に残ったようです。全体的に、子ども達は土木の仕事について深く理解した様子が見られました。

保護者向けのアンケートでは、子どもの様子、授業内容、そして最近「土木」について感じることにに関して質問しました。こちらでも「屋外での授業が楽しそうだった」という声が多く寄せられました。また、「土木は男性の仕事というイメージがありましたが、女性でも活躍できる仕事だと実感しました」「インフラに関わるドボジョの皆さんはとても素敵です。人口の半分が女性であることから、女性の視点でインフラを築くことは非常に重要だと思います」といったドボジョに対する感想や、「土木学科で何を学ぶのか、土木業界でどのような仕事をするのかがイメージできました」という土木への理解に関するコメントもいただきました。

今後もこのようなイベントを通じて、より多くの方々に「土木」を身近に感じていただけることを願っています。